

介護・医療連携推進会議開催報告書

平成30年 7月 13日

事業所名	都筑区医師会24時間在宅ケアステーション		
担当者	青柳かおる	電話番号	045-913-3577

1 開催日時	平成 30 年 7 月 13 日 14:00 ~ 14:30
--------	--------------------------------

2 開催場所	都筑区医師会館 理事長室
--------	--------------

3 出席者	出欠	
(1) 委員 8 人	出	木下 均 (利用者・利用者家族)
	出	松本 裕 (地域住民の代表者)
	欠	堀元 隆司 (地域住民の代表者)
	出	齊木 和夫 (地域の医療関係者)
	出	小川 憲章 (地域の医療関係者)
	出	小林 雅子 (地域の医療関係者)
	欠	渡會 祥子 (定期巡回・随時対応型訪問介護看護について知見を有する者)
	出	成田 真一 (地域包括支援センター職員)
	出	池村 明広 (横浜市職員、区職員、)
(2)	大山 学	横浜市都筑区医師会会長
(3) 事務局 4 人	青柳 かおる	管理者
	宮島 佳代	都筑区医師会訪問看護ステーション看護師
	吉井 涼子	都筑区医師会在宅事業部門統括管理者
	後藤 瑞佳	都筑区医師会24時間在宅ケアステーション事務

4 活動状況報告	別紙のとおり (会議開催時配付資料 第2号様式)
----------	--------------------------

5 活動状況に関する評価	今期の活動は概ね適切に実施されている。
--------------	---------------------

6 要望、助言	<ol style="list-style-type: none"> 報告の実績は例年と変わらないということなのか。 服薬介助はどのように実施するのか。 認知症の利用者に何か言われたりしないのか。
---------	---

7 要望、助言に対する考え方	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ、変わらないが、昨年度は相談があっても、新規利用に結びつかなかったが、今回久々の新規利用の契約となった。 薬カレンダーから、本日分を取り飲んでいただくので、5分から10分で終了する。訪問時間に制限がないのが、このサービスの特徴。訪問介護の場合20分から30分いるので、服薬介助の他にいくつかのサービスを提供するようになる。利用者によっては、速やかに終了するこのサービスの方が、気持ちの負担が少ない場合もある。 認知症の症状は様々なので、特に介護度の低い利用者は、会話だけでは認知症とわからない場合もある。中には介護の拒否や暴言もあるが、認知症の症状と理解し、情報を共有している。しかし、ヘルパーも人間なので、認知症とわかっていても傷つくことはある。気分転換も必要なので、事業所内で転換するようにしている。
----------------	--

8 その他特記事項	次回、推進会議は 平成31年3月頃
-----------	-------------------

1 利用者の状況 (6月30日現在)		2 人 (男性 2 人、女性 0 人)				
内 訳		要介護1 1 人	要介護2 1 人	要介護3 0 人	要介護4 0 人	要介護5 0 人
3月	利用開始 0 人	(特記事項) 要介護2 独居の男性。大腸がんのため、ストマ造設している。要介護1、独居の男性。レビー 小体認知症(H30年6月)、慢性硬膜下血腫(H29年7月)、骨粗しょう症、高血圧、狭心症。				
	利用終了 0 人					
4月	利用開始 0 人					
	利用終了 0 人					
5月	利用開始 0 人					
	利用終了 0 人					
6月	利用開始 1 人					
	利用終了 0 人					
2 主な活動、出来事						
3 月 9 日	平成29年度4回:介護・医療連携推進会議					
5 月 24 日	ケアネットつづき・PR合戦					
6 月 8 日	横浜定期巡回随時対応型訪問介護看護連絡協議会総会					
7 月 13 日	平成30年度第1回:介護・医療連携推進会議					
3 事故等の状況						
月 日	無し					
4 職員の異動						
平成30年5月非常勤女子、ナーシングホームから異動						
5 次期の主な活動予定						
12 月 日	横浜定期巡回随時対応型訪問介護看護連絡協議会・事例発表会					
3 月 日	サービス評価					
月 日						
月 日						
月 日						
6 特記事項、その他						
特になし						